

中地区公民館運営審議会概要

中地区公民館

実施年月日	第6期 第2回運営審議会	平成29年12月11日(月)	
会場	中地区公民館 4階会議室 午後2時00分から4時00分		
出席者	運営審議会委員	大桃 伸一, 葦澤 均, 遠見 繁也, 安原 達夫, 井上 秋江, 丸山 昇一, 高橋 まり子, 小浜 由美子, 石井 葉子, 津野 香 (全員出席)	
	事務局	中地区公民館	鷺尾 雄二, 田中 直美
		石山地区公民館	野口 美奈子, 保坂 京子
主な議題	議事 (1) 平成28年度事業評価シートの委員意見について・・・資料1 (2) 平成29年度事業の中間報告について・・・資料2 (3) 平成30年度予算の策定状況について・・・資料3 (4) 平成30年度事業に関する委員提案について・・・資料4 3 その他 (1) 運営審議会正副議長会議の開催状況について・・・資料5		
(鷺尾館長あいさつ)			
(議長あいさつ)			
(1) 平成28年度事業評価シートの委員意見について			
公民館事務局 鷺尾館長	(以下, 資料1に沿って説明)		
大桃議長	よろしいでしょうか。ありがとうございました。 委員の皆さんには、それぞれ意見を出していただきましてありがとうございました。館長さんが、全体を集約した意見としてまとめていただきましたが、この案について何かご意見等、ご質問等ございませんでしょうか。		
小浜委員	私のほうから、質問というか、館長さんに直接お聞きしたいと言ったほうがよろしいかと思うのですけれども。中地区公民館でも、新規事業を実施する必要があるというくだり、文言と、石山地区公民館においても新規事業の立ち上げ等により、それが必要だということが文言として載っているのですが、市の厳しい財政の中で、また新年度に新規事業を開拓して底上げするということはなかなか難しいことだと思うのですけれども、館長としてというか、公民館全体の方針として、その辺をどのようにとらえていらっしゃるのか。新年度に向けて、予算設定とかそういう準備もあろうかと思うのですが、その辺をお聞かせ願いたいと思います。		
公民館事務局 鷺尾館長	とりあえず、私のほうから。中地区公民館については、今回厳しい意見を頂戴しております。ただ、少し中身の正確な説明等がちょっと足りなかったという部分もあると思うのですけれども、既存の予算事業枠の中で、いかに事業の中身を工夫してやるかというのは、機能的にはできると思っております。まるっきりに、分野の違う新規事業を予算を取ってきてというのは実はかなり難しいものが		

	<p>あるのですけれども、既存の枠の中でいかに工夫するかというものは今でもできますし、今年度も、後ほど説明したいと思いますが取組んできましたし、またこれからも取組んでいかなければいけない。また、来年度もそういうふうな思いで、委員の皆さんからも頂戴したいろいろな意見等反映をさせながらやっていきたいと思っております。</p> <p>また新年度予算のところで、さらに詳しく説明をさせていただきたいと思えます。</p>
公民館事務局 野口館長	<p>新規事業ということなのですが、鷺尾館長がおっしゃったとおり、枠内、もっている予算の中での割り振りを組み替えるということで役目を果たしたという事業についてはやめるという決断と、あとは、公民館はお金がないので持っているところと連携してということが工夫できる点になると思っております。</p>
大桃議長	<p>資料4、あとで説明があると思いますが、委員の皆さんからもいろいろ提案をいただいておりますので、そういったものも考えていただいて、新しい、新規事業といえるかどうかは分かりませんが、新しい試みというの、あるのではないかと思います。</p> <p>中地区公民館の案では、奮起を望むと、結構厳しい書き方でしたね。これ、残るのですね。</p>
公民館事務局 鷺尾館長	<p>ホームページに載ります。</p>
公民館事務局	<p>議事録は、市政情報室にも書類として情報提供いたしますし、議事録についてはまたホームページで公開いたしますので、委員の皆さんにも議事録をご確認いただいてという流れになりますので、ご協力をお願いします。</p> <p>言葉のニュアンスでも、ちょっと気になることがあれば。</p>
大桃議長	<p>全体として、中地区公民館について書かれている文章のボリュームが多くて、この辺のところは、何となく最初見たときに気になったのですが、行政的には全然問題ないですか。</p>
公民館事務局 中地区公民館長	<p>そうですね。</p>
大桃議長	<p>石山地区公民館、木戸のほうは、ちょっと少なくともいいかと。</p> <p>よろしいでしょうか。では、この件については、よろしいでしょうか。もし、委員の意見がまとまりましたので、この案を取っていただくということにしたいと思います。ありがとうございました。</p>
(2) 平成29年度事業の中間報告について	
公民館事務局	<p>(以下、資料2に沿って説明)</p>
大桃議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>まとめて、質問やご意見がありましたらお願いします。</p>
安原委員	<p>中地区公民館のほうで、4番目の中に学習室開放事業とありまして、そのうえに青少年の居場所事業「ホットプレイス」があるのです。この回数が上は207回、</p>

	下が 95 回。石山地区公民館と比べてみると、石山地区公民館は青少年の居場所づくりも学習室開放事業も両方とも 207 なのですけれども、この 95 というのは何か意味があるのですか。半分ですよ。
公民館事務局 鷺尾館長	学習室については、私ども、実はこの部屋を使っております。この部屋で基本的に土日と長期休暇に開設しておりますので、その日数になります。
安原委員	平日はやっていないということですか。
公民館事務局 鷺尾館長	はい。
安原委員	なぜですか。
公民館事務局 鷺尾館長	小学生、中学生の学習の会場になるわけなのですけれども、基本的に平日は放課後の 5 時半から 7 時までの間ということで、ここがこの建物の目が届かない場所、石山地区公民館と少し構造が違うということもあります。状況を踏まえて開設日数が違うという形になります。
安原委員	子どもを信用していないということですね。
公民館事務局 鷺尾館長	そういうことではないのですけれども。石山地区公民館は私ももちろん存じ上げているのですけれども、石山は通り道にある場所ということと、こちらの部屋が一応 7 時までということなので、普段はここは学習室としてはやっていないという形になります。
安原委員	石山は 3 階のちょうど角にあるのです。別に通り道になっていて、ここも通り道だと思うのですけれども、これは何とかできないのだろうかと思いました。
公民館事務局 鷺尾館長	分かりました。検討してみます。
安原委員	石山の関係を聞いていたら、何か質問しようと思って忘れてしまった。とりあえず思い出したらまた質問します。
大桃議長	石山公民館は、すぐ定員いっぱいになる講座が多いという感じですが。
公民館事務局 野口館長	先着という講座はすべて定員を充足しています。先着で、翌日に電話をかけてこられてもお断りするという状況です。本当にありがたいのですけれども、申し訳ないという気持ちがあります。何度も足を運んでくださる方とか。石山地区公民館の先着の講座は埋まってしまうのに気づいた方は窓口にいらしてくださいまして申し込んでくださいます。抽選にしてしまうと、逆になかなか、期限まで待つて抽選の連絡が郵送などになりますと、郵送の役務費とかもこちらのほうには予算がなくて本当に申し訳ないのですけれども。メールの場合は抽選にしているのですけれども、高齢者の方はなかなかメールの対応が難しいということで、今のところは実現しておりません。
大桃議長	何かその秘訣みたいなものはありますか。
公民館事務局 野口館長	地域性というのもしかしたらあるかもしれないですけれども、あとは、やはり駅が近かったり利便性が高いということもあるのかもしれない。バイパスに割と近いところで、車での来館も、駐車場がありますので、そういうこともあったりということと、やはり担当でチラシを工夫したり、チラシの置き場所を工夫

	<p>したり、先ほどのファインダーなどは担当が近くのコンビエンスストアとかにも自分で足を運んでチラシを置いてもらったり、あと、ご近所だんぎについては世話人の方々が7名程度いらっしゃるのですけれども、その方々が本当にもものすごく、40か所くらいのところに自分たちでチラシを設置してくださっていますので、そういうところでの、石山地区公民館の事業に対する認知度は高くなるのかなと考えています。</p>
安原委員	<p>私もよく分かるのですけれども、無料講座を回遊している人がいるのです。石山はすぐ満杯になるからということであるのだと思うけれども、いつ見てもいる人がいるのです。また同じ名前だという。ただ、それも新しい講座でずっと引っ張ろうと思ったときにはそれが全部害になるのです。先ほどのここにあったでしょう、私の筋肉活性化講座を49人で切ったのです、1日で来たので。ところが、実際に40名で締め切ったにもかかわらず、実際、初回に来なかった人が10人もいるのです。そうすると、その10人の人たちのおかげで来たかった10人が来れなかったわけです。とても腹が立ちます。最終的には3回とも30人そこそこしか来ない。実際に終わってみんながいいねと言っていた割に、グループ化しようと思って皆さんのところに行くと、10人もいないのです。これはいいのか分からない。最初からグループ化しようと思ってやっていたのだけれども、そんな結果になったので、いい結果とは言えないと思います。それだったら60人くらい取って40人くらいが来てくれたほうがいいわけで、少し多めに取らなければだめだと思いました。だから40人で切るというのは失敗したと思います。もしかしたら49人とか残りのそれ以外の人の中から本当に来たかった人がいたかもしれないと思うのです。そのようなことで、やたらいっぱい来てもいいわけではないということも言えると思います。本当に回遊しています。ほかの公民館まで行っているという話もあります。公民館の無料の講座を渡り歩いている人がいるのです。</p>
大桃議長	<p>年齢的にはどのくらい。</p>
安原委員	<p>やはり高齢者です。</p>
大桃議長	<p>生きがいにはなりますよね。</p>
安原委員	<p>はっきり言えばね。 それから別の話なのですからけれども、今日はチラシをずっと見せていただいて、中地区のチラシなのですからけれども、私、珍しく褒めます。山の下のまち歩きとこの次の二つ。とてもすっきりしていて、いいです。</p>
公民館事務局 鷺尾館長	<p>担当者がおります。</p>
安原委員	<p>そうですか。お話と映写会と東区の昔語り。かっぱ伝説があったという。</p>
公民館事務局	<p>ありがとうございます。</p>
安原委員	<p>チラシは何が大事かという、私の意見ですけれども、こういう空白の部分が多くないとだめなのです。それで、これは申し訳ないけれども息苦しい。だから四畳半の部屋に住んでいるような感じなのです。これは8畳とか10畳の部屋に</p>

	<p>住んでいる感じがするのです。こういう余白がないとだめなのです。</p> <p>あとは文字の使い方です。こういうところはいいのです。しかしこういう中はやはり普通の文字を使わないと、明朝体とかゴシック体とかで、こういう文字を使ってはだめなのです。そういう一つ一つ苦言です、石山地区公民館に対する。</p>
大桃議長	<p>石井委員、地域のたから再発見事業はいかがですか。先ほどお名前が出たのですが。</p>
石井委員	<p>私自身が移住者なもので、提案のようなことを書いたのですが、こういう企画をされたということで、参加したかったなと思いました。先ほどここに展示してあったものを見せていただいて、いい企画だったし、いい実施だったのではないかと思います。</p>
安原委員	<p>これは本当に行きたいと思います、これを見て。</p>
事務局	<p>来年度の計画を練っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
安原委員	<p>それと、今言っているのかどうか分からないのだけれども、先回の6月だったかのときに私が提案しようと思っていたのが、いろいろなことを言い出したものだから時間がなくなって何も言えないで帰ってきたのだけれども、公民館側でこの事業とこの事業についてはぜひ皆さん来ていただだけませんかというアピールをしてもらって、それを、ではだれだれが行く、だれだれが行くというようにして埋めたらどうかと思うのです。そうでないと、私は最初にここに来たときにこんなものを出されても、何一つ見ていないのにどうやって評価すればいいのだと思ったのです。それについては、例えば、皆さん、我々がこれを見てどれに行こうと決めればいいのかもわからないけれども、特に重点的にこれとこれに来ていただだけませんかというアピールがあれば、では私行きますとかとなるではないですか。そういうことをしたほうがいと提案しようと思ったのだけれども、突然、中央公民館何たらかんたらとか言い出して、何も言えずに帰ってきたということです。</p>
事務局	<p>公民館月報をお送りする際に、近々のチラシなどを入れさせてもらっても、ご都合がつけば、委員の方が重複されて出席されてもいいのではないかと思いますので、ご都合がつけばご参加よろしくをお願いします。</p>
丸山委員	<p>前は結構そういう声がかかって、少し大変だけれども行ってみるかということで行って見たら割と良かったというケースもあるので、遠慮されしないで、どんどん声をかけてもらえれば。</p>
事務局	<p>参加者でなくても、例えば、子ども対象の事業でも、見学にお越しいただければ幸いですので、よろしくをお願いします。</p>
大桃議長	<p>とても大事なことだと思います。丸山委員は、以前、いろいろ企画もされて参加されたりということですよ。</p>
丸山委員	<p>石山でいろいろ成功していってしゃるものの中で、中地区でも、これはいいなというものは、ぜひ取り上げていただけるといいのではないのでしょうか。向こうの地区の人は向こうの地区に行くでしょうし、先ほどぐるぐる回っている人もいるという話ですけども、できればこちらの地区の人たちもそれなりに入ると思</p>

	<p>いますので。</p> <p>あと、中地区の1番のコミュニティ・コーディネーター育成講座は非常にいいと思うのですが、コミュニティ協議会とか自治会とかそういうところへのつなぎとといいますか、参加された方。そういうのがよかったという意見がいろいろあったようですので、そういう人たちの中で協力していただける方を紹介してもらおうとか。なかなかつながるといのは難しいのだと思うのですが、そのようなこともこれからぜひやってもらえるとありがたいと思います。</p>
公民館事務局 鷺尾館長	<p>昨年、一昨年と私どもはアンケートを取りつつ、地元の自治会、コミュニティ協議会に紹介してよろしいかというその方の了解を得たうえで、お名前をコミュニティ協議会に情報伝達をします。コミュニティ協議会からアプローチしていただくというやり方をこれまで取ってきました。今年はまた少しこなれてきて、実際に、なじよもさんという、介護センターみたいな施設ですとか、学校の地域教育コーディネーターのご協力をいただいて、学校のボランティアの実態みたいなものを見学させていただいて、非常に具体的で、さらに今回よかったという感想をいただいています。これだったら自分にもできるという感想が非常に出てきております。なかなか自治会、コミュニティ協議会の役員ということになると非常にハードルが高いわけですが、今回、みらいサポーター、例年やっております地域デビュー応援講座の一連のものなのですが、今回、非常にハードルが低い、介護の現場のボランティア、それから学校支援ボランティアということで、非常にハードルの低いものを皆さんに紹介できたことで、多分、それの方が地域の学校なり地元のボランティアサークルなりに行っていただけではないかと、アンケートを見ながら思った次第です。</p>
丸山委員	<p>逆にコミュニティ協議会とかそういうところから参加してもらえるようなメニューを出してもらおうのも一つの手かもしれません。例えば、我々のところでやっている地域のパトロールとかそういうものだったら、いきなり役員になってもらわなくても。そういう方法もあると思います。</p>
公民館事務局 鷺尾館長	<p>去年、一昨年に比べてさらに今年よかったと。すみません、私は担当ではなくて、アンケートとか結果報告でしか知り得ていなくて恐縮なのですが、非常によかったかなと思っております。</p>
大桃議長	<p>ありがとうございました。</p>
(3) 平成30年度予算の策定状況について	
公民館事務局 鷺尾館長	<p>(資料3に沿って説明)</p>
大桃議長	<p>今のご説明等について、ご質問等がありますか。</p>
安原委員	<p>もう一つ、実は提案がずっとありまして、今、2回ですよね。3回できないというのは、要するに支出が伴うからできないのですよね。</p>
公民館事務局 鷺尾館長	<p>はい。</p>
安原委員	<p>ですよね。なので、もう一回手弁当で出てきていいと言わないかなと。私は全</p>

	<p>然かまわなくて、そうすると、だいぶ内容的に2月末とかそのくらいになると。2回では絶対に少ないです。6月、12月でしょう。それを3分割して、もちろんそれで出てきたくない人は出てこなければいいのだろうけれども、そう言う身も蓋もないのだけれども、私はそのように提案できないかなど。そんな話を前館長からも聞いたし、関屋公民館でそういうことをやっていたという前例はあると聞いたので、関屋でできるのだったらこちらでもできるのではないかと私は思うのです。</p> <p>もっとはっきり言うと、たった2時間であんなにたくさんいらないですよ、金額的に。ものすごい高給取りではないですか。そういうことを考えれば、もう一回、二回、手弁当で来ても全然問題ないのではないかと思うのですけれども、皆さん、いかがですか。</p>
大桃議長	<p>忘れますよね、この前話したけれども。資料をもらっても、そんなものはあったかなという感じになるから、3回くらいあったほうがいいと思います。</p>
安原委員	<p>私はずっと最初のところは全部綴じてあります。そうすると、いろいろな比較ができるので、気がついたことを書いたりしているのだけれども、ぜひ、3回くらいにするべきだと、前向きに考えてもらえればと思います。年を越して1回、それから5月くらいに1回、それから12月ではなくて10月くらいに1回はできないかと思うのです。もっと内容的に充実させられると思います。いかがでしょうか。</p>
大桃議長	<p>そこのところは休憩のあとにお話しさせてもらってよろしいでしょうか。では、10分くらい休憩を取りたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
(休憩)	
大桃議長	<p>会議を再開したいと思います。先ほど安原委員から提案がありました、年3回を要望したらどうかということですが、館長からも少しお話があったようですが、正副議長会議との関係も少しあるのです。その辺と絡み合わせて、新潟市は財政的に厳しいところがありますが、うちの審議会ではこういうご意見があったということをごどこかで伝えていただければと思いますが、いかがでしょうか。実際的に2回ではなかなか厳しいということは多くの委員が感じているところではないかと思っています。</p>
石井委員	<p>今の安原委員のご意見に賛成なのですが、ただ、運営審議会となると、やはり成立要件とか委員への手当とかいろいろな役所的な問題がありますので、例えば、中間に運営委員の意見交換会とか、名称を変えることで、実質的な話し合いをすることは可能なのではないかと思います。</p>
安原委員	<p>いいと思います。そこで出して、まとまったものに回の中で納めていけばいいわけだから、それでもいいと思います。</p>
石井委員	<p>看板は運営協議会というのは2回であっても、事実上意見交換会とか、検討会とか、いくらでもできるし、ぜひ、やれたらいいなと思います。</p>
大桃議長	<p>あるいはそういう実績を作って、上のほうに、やはり3回に、全市的にやってほしいということを検討してほしいということは言えるかもしれません。</p>

石井委員	本来は、やはりきちんと運営審議会として複数回、3回やれば一番いいのですけれども。
(4) 平成30年度事業に関する委員提案について	
公民館事務局 鷺尾館長	(資料4に沿って説明)
大桃議長	ありがとうございました。 何かご意見等ありますか。
安原委員	これではないのですが、いいですか。今思い出したので聞きたいのですけれども、中地区公民館で双子、三つ子の話がありましたよね。それはどれだけの応募者がいるのかなと、必要性があるのかなと疑問に思ったので、伺いたいと思います。
公民館事務局 鷺尾館長	実は、私どものほうで、子育てサロンというのを常設してやっていますが、そこでやはり双子、三つ子を抱えているお母さん方、あるいはゆりかご学級みたいなもの、あるいは幼児期家庭教育といったところに来ているお母さん方の中で双子、三つ子といったところを話した中で、やはり子育ての楽しさだけではなく、当然、難しさもあるということで、今回、その人たちがだんだんグループ化して、このたびめでたくサークル化することになったのです。私どものほうでもお手伝いしていたのですけれども。そういった中で、ここには参加していないけれども、双子、三つ子たちでいろいろきつと悩みを抱えていらっしゃる人がいるのではないかと、では、講座を一度やってみようという話になりました。ニーズがどのくらいあるかというのは、実は分かっていません。ただ、そういったお母さん方と私どものスタッフが話をする中で、けっこうあるのではないかと、3月にやることにした次第です。
安原委員	石山のこめっこに三つ子のお母さんが出ていますよね。
公民館事務局 野口館長	そうですか。すみません、存じ上げないです。
安原委員	こめっこクラブというところに三つ子のお母さんがいます。じゅんさい池の近辺に住んでいるようです。とても頑張っているのです。前向きだと。
津野委員	双子はけっこう学校とか学年で、私は下山なのですけれども、今、中学1年生なのですけれども、たまたま学年で5組も双子がいるのです。
安原委員	そんなにいるのですか。
津野委員	はい。たまたまなのですけれども。やはりそうやって育てているお母さんたちは、一人でも大変なのは分かるのですけれども、同じ学年で二人なので、悩みも倍、いろいろなものをそろえたりするのも二人分だとか、私たちには分からないような双子ならではの悩みなどがよくあるみたいで、例えば、学校に少し来たときに双子のお母さんを見つけると、やはりそれぞれにああだこうだというようなことを、ただ兄弟がいるというお母さんとは違う観点での話とか、どうしているとか、お互いに愚痴を言い合うとか、けっこうそういうものを見たりしているので、やはりこういうものを、ただ子育てというのとは少し違うところで、意外と

	<p>こういうものは声かけすると、私、こういうのを待っていたのという人がいるのではないかという気はします。</p>
安原委員	<p>いるかもしれないですね。</p>
高橋委員	<p>私も知り合いに双子の子どもがいるのですけれども、よく市報に双子、三つ子の集まり、黒埼にあるのをお勧めしたら、すぐいっぱいになってしまっていて入れないのだという話を聞いたことがあります。やはり、ともだちひろばでも双子が来ると、双子を連れてきた人はそこのところに行って話をしているので、やはり必要性はあるのだろうと思っています。</p>
大桃議長	<p>私も 20 年くらい前でしたか、そういうサークルに呼ばれて講師を務めたことがありましたが、けっこう大人数でした。30 人、40 人くらいだったです。全市でそういう感じでした。ですから、全市で考えてみると、例えば、こちらの公民館でやって全市からそういう人たちに来てもらえれば、けっこう要望があるのではないのでしょうか。</p>
安原委員	<p>そういう人たちも、例えば、双子に全部必ず同じものを着せる必要もないのだろうけれども、そういう人たち同士のコミュニティができれば、もう小さくなったからあげるねということもできるわけです。いいかもしれないです。</p>
津野委員	<p>とてもいいと思います。学用品などは本当に同じものを二つだと、多少どこかで補助とかがあればいいのでしょうけれども、全く。</p>
小浜委員	<p>あと、制服とかが高いではないですか。</p>
津野委員	<p>そう、制服とか体操着とか。</p>
小浜委員	<p>鞆とか。</p>
津野委員	<p>鞆。中学生くらいだと、例えばの話、柔道着みたいなものとか、さまざまなものが二つだからどうしよう。回せるもの、授業のときしか使わないから授業が違えばというのはあるけれども、例えば、男女の双子だと男の子が貸したくない、女の子が貸したくないとか、さまざまなものが出ているみたいなので、ニーズはけっこうあるのではないかと思います。</p>
遠見委員	<p>何も書かないで言うのは申し訳ないのですけれども、先ほど学校開放というか学習開放ですか、学校としても学力をどうやって高めたらいいのかということで、とても問題になっています。勉強する場所がないと。家がどうなのか分からないけれども。ある学校で、学校が終わって部活動のない日、スーパー銭湯に行って風呂に入らないで、勉強して怒られていて。エアコン、暖房完備なのです。当たり前の話なのだけれども。今、ほかの子どもが家に入ってはいけないみたいな、家の人がないときに上げてはならないと。だけれども、友達同士であれば勉強がはかどるとか。何とか放課後、あるいは土日に学習をする場所の提供ができないのかということです。</p> <p>学習できる場所が常に満杯にならなくても、何人か利用できるような場所が確保できればいいのかなということがまず第 1 点です。</p> <p>第 2 点目が、映写会がありますよね。これもお金がないのであれば仕方ないですが、私が教育委員会にいたときに、市民映写会とか、あるいは子どもたちに対</p>

	<p>してアニメ映画の上映会をやっていて、盛況でした。私が言いたいのは画質です。つまり、テレビでDVDや液晶で見るのと映画は何が違うのか。画素が違うわけです。大きいスクリーンで。いろいろなこういった映画の内容からすると、やはり画質というのが子どもに与える影響というのは大きいです。本当にお金がないのであれば仕方ないけれども、やはり家でも見られるDVDと液晶ビジョンではだめだと思うのです。4Kとブルーレイの、本当にきめ細やかなアニメやいろいろなものを見せることによって、感動も違ってきます。そのようなPRをすれば、恐らく集まってくる人たちの数も違ってくるのではないかという気がするのです。そういったところで、本当にお金がない中で、一番だめなのは液晶プロジェクターで安易に、画素も悪いし暗い、画面も鮮明ではないというのが、同じ内容を上映しても、やはり感動も薄いです。</p> <p>昔は映画で本当に大きいスクリーンにきめ細かな映像をしていると。映画もあるのです。昔、私なども16ミリの映写機の技術の免許を持っているのだけでも、それがなければ上演もできない。ライブラリーはまだ新津にありますよね。</p>
公民館事務局	16ミリに。
遠見委員	<p>本当であれば、そういった名作シリーズのフィルムなどもまだ残っているはずだから、そういったものを映写できれば、DVDでは得られない感動、いい映写会になるのかなと。今回、25日でしたか、どのくらい集まっているか分からないですけれども。</p>
公民館事務局	<p>そんなに大きな部屋ではなくて、本当にやりたいのは、東区の昔語りを聞かせたいのです。しかし、少しまだなじみがないだろうからということで、抱き合わせなのです。映写会をメインにやるのであれば、16ミリは大きくてとてもいいと思います。</p>
遠見委員	<p>そうですね。市のライブラリーと県のライブラリーに両方あるので。県はとても大きいライブラリーがあるので。そのようなことで、二つ意見として追加させていただきます。</p>
公民館事務局 鷺尾館長	<p>学習室の件で、先ほど安原委員からお話があって、少し思い出したことがあります。小学生、中学生ですと、平日は基本的に授業があって、学年によりましてけれども、小学生だと大体3時半から4時ごろ、中学生になると5時近くになってしまいます。そこから私どもの館に来て、今ですともう真っ暗なので、私どもの館は小学生だと実際は5時半くらいにみんな帰っていくのです。あと、実質的には、フリースペースが学習室と化しています。小学生はゲームとか、いわゆる居場所になっているのですが、中学生で、全員とはいいませんけれども、数人ずつけっこう通って、試験勉強とか、あと、特に中間テストとかが近くになるとけっこう大勢、もちろん地元だと思うのですが、地元の子どもがやってきて勉強しています。それから高校生になると、高校生は今度は学習室というよりは図書館で7時まで学習して、7時になると図書館が閉館して追い出されるので、私どもの1階のフリースペースに移って、そこで引き続き、多分、受験なのだろうと思うのですが、受験勉強を1階のフリースペースでやっています。</p>

	<p>実は、学習室の使用をいっぱい、もちろん私どもも人数が増えたほうがいいので、したいところではあるのですが、実質的には、平日ですが、フリースペースで用が足りているというところがあります。4時、5時くらいから7時までの間になってしまうので、今のところは実質的に用がなかったものですから、ずっと以前から平日は学習室としていないという状況になっています。ただ、検討しないということではありません。検討させていただきたいと思います。</p>
安原委員	<p>今、東区プラザに行くと1階から3階まで、すごいですよ。</p>
公民館事務局 鷺尾館長	<p>テーブルのところで勉強しています。</p>
安原委員	<p>暖かくていいですよ、あの場は。私が子どもだったらあそこに行って勉強しているなと思います。</p>
津野委員	<p>私の子どもはちょうど高校生なのですけれども、普段は部活があるので帰りが遅いので家で、全然勉強しないのですけれども、テスト前になると、少し早く上がってきます。そうすると、友達と、一人だとどうしてもやはり、今どきの子どもなので携帯をいじって勉強しないので、友達とそうやって東区プラザとか、こちらのほうも利用したりしている。そうすると、何かやった気になっているのか分かりませんが、友達と集まれば携帯をいじっているというよりは少しでも勉強したりするので、とてもいい場になっているので、ぜひとも平日もやっていただけるといいのかなと思います。</p>
安原委員	<p>あそこを見て感じるのは、ゲームをやっている人は一人もいないです。</p>
津野委員	<p>東区プラザのところは本当にすごいです。</p>
安原委員	<p>みんな一人用の机でみんな勉強しているから、あ、いい場なのだなと本当に思います。</p>
津野委員	<p>取り合いです。空きはないかなというくらい、みんなびっしり入っています。</p>
安原委員	<p>1階から3階まで、すごいですよね。あれはいい場です。暖房が効いているし冷房も効いているし、飲み物もあるし。</p>
津野委員	<p>自販機がありますしね。</p>
<p>3 その他</p> <p>(1) 運営審議会正副議長会議の開催状況について</p>	
公民館事務局 鷺尾館長	<p>(以下、資料5に沿って説明)</p>
安原委員	<p>豊栄地区公民館移転についてというのはどういうことですか。どこかに移転するのですか。</p>
公民館事務局 鷺尾館長	<p>豊栄地区公民館は、今現在、独立館として設置されています。今度、北区役所が移転するのに合わせて、北区役所が現在地点から今の豊栄地区公民館のすぐ東隣の芝生地に新築されます。今、新潟市では複合施設化を進めております。これはなぜかという、いわゆるコスト削減等のために、あとは、全体として賑わってもらいたいという理由がありまして、そういった公共施設はできるだけ複合施設で設置するということがありまして、豊栄地区公民館も築、かなりたっており</p>

	<p>ます。それから北区役所は相当古いです。北区役所の移転新築に合わせて豊栄地区公民館がその中に入るという形で、複合施設化ということになる予定になっています。平成 33 年ころでしょうか。まだ時間がかかるのですが、今現在、一体的な形で話がどんどん進んで、来年度くらいに図面ができ上がるのではないのでしょうか。実施設計、そんな感じになっています。</p>
大桃議長	<p>今の件について、何かご質問等ありますか。</p> <p>よろしいでしょうか。時間も来ましたので、ないようであれば議事を終えたいと思います。本日予定された案件はすべて終了しました。皆さん、ご協力ありがとうございました。</p> <p>すみません、井上委員に正副議長会議に出させていただいたので、ご発言をお願いします。失礼しました。</p>
井上委員	<p>会計逼迫というのですか、財政が逼迫していてだんだん予算が削られているということが、とても伝わったなという、大変なのだという現状を、いかにそこで工夫して、皆さん一生懸命やっということが伝わってきました。</p> <p>一つ、先ほど館長もおっしゃったのですが、ゆりかご学級というか、若いお母さん、子育てが初めてだとか、そういう若いお母さん方が対象になるわけですよ。保育してもらいながら研修を受けられるというのはなかなかないのです。子どもが常にいてという状況のお母さん方が学べるというか、子育ての悩みとか、そこに同じ状況の人たちがいる中に参加できるということは、とても他に代えられない貴重なもので、そういうものが公民館の活動の中にしっかりとあるというのは新潟の公民館の意義なのだと言ってくくださる方もいらっしゃるくらいなのですが、そういうところがあったので。特に東区などは児童虐待の件数がなかなか減らない現状もありますので、そういうところをバックアップしていく大事な受け皿なのではないかという話も出ていました。</p>
大桃議長	<p>ありがとうございました。</p>
安原委員	<p>それから、赤ちゃんの保育受け入れの話なのだけれども、私が聞いたのは、赤ちゃん二人に対して保育者を一人つけなくてはいけないという基準があるらしいのです。二人に一人というのは多いのではないかと。3人にできないのか。それだけでものすごく違うと思うのです。</p>
高橋委員	<p>赤ちゃんを背中と抱っこで二人でいっぱいです。</p>
安原委員	<p>赤ちゃんではなくて、もう少し大きくなると。</p>
公民館事務局 鷲尾館長	<p>年齢階層ごとに配置基準が違うのです。</p>
公民館事務局	<p>幼児だと子ども三人に保育者一人です。</p>
安原委員	<p>そうなのですか。それは知らなかったのです。</p>
大桃議長	<p>それではこれで終了といたします。</p>
<p>(閉会)</p>	